

東北日報

刊休無中
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀
日十城郡平町白銀

全焼六戸、半焼三戸を出した

平町の朝火事

原因は平署で取調べ中

二階より飛び下り山野邊氏負傷

四日午前十時五分頃平町才、逸早くかけつけた平消防組小路一番地色川製材工場組其の他附近各村の消防組と元仲里辯護士宅の間よりの必死の消火で午前十一時發火し折柄の東風にあほら四十分山野邊辯護士、高橋れて火は見る／＼うちに西活版所、色川商店、萬年工南に燃ひ擴がり福島新聞平、ライト寫眞館等を半支局長森田忠正、材木商志松させて鎮火したが原因其賀豊松氏、色川工場、元仲の他は平署で火元と目され里辯護士宅等をなめつくしてゐる。二階より飛び下り山野邊氏負傷、一氏宅に延焼せんとしたの以上と目されてゐる。

色川の木材

五十車全焼

損害廿萬圓の見込

平町才掘小路の晝火事は別十萬圓見當であつて最近に項の如くであるが原因の點ない大火災であつた各消防はついでには不審の點があり組が必死を盡しての消火も平署で調査中である發火時乾そうしてゐた木材が猛烈は午前十時二十分約一時間な勢ひでもへあがつた爲め半、互つて延焼したが焼失逐に十戸の類焼家屋を出し戸数は全焼六戸半焼四戸でたが類せう者は左の如くであつた色川材木店の倉庫にある。

○全焼

森田福新支局長宅、志賀子之松、江口忠一、荒木喜太郎、堀江新太郎

○半焼

堀江工業會社、高橋活版所、山野邊辯護士

死兒の水葬問題は

結局不起訴と決定

勿來海岸に起きた
死體を水葬にすれば後に生れる子は丈夫にそだつといふ朝鮮の慣習から行つたもので全然刑法上の問題に觸るゝなどの意志のなかつたことが判明したので不起訴となつて釋放された。

取調べ

死體を水葬にすれば後に生れる子は丈夫にそだつといふ朝鮮の慣習から行つたもので全然刑法上の問題に觸るゝなどの意志のなかつたことが判明したので不起訴となつて釋放された。

成績の悪い

平税務署

平税務所における納税成績は縣内各税務所中最も悪い。郵方に一泊した形跡あると

荒木技師は

一物も出さず

頼せう厄にあつた水利組合技師荒木喜太郎氏は恰度佛に出張した留守であり更に家人は所用あつて外出してあつた爲め遂に一物をも搬出せず全部やいてしまつたので非常に同情されてゐる。

山野邊

辯護士負傷

二階で要談中だつた山野邊辯護士は火災の報を聞いて二階から飛び下り足部腰部に全治三週間のサツ過傷を負つた。

中通りの

税務署員

平地方に入込む去る二十八日耶麻郡喜多方町方面に若松税務署員なりと稱して印紙税の検査をなし違反者に対しては金品或は酒肴を強要する不適の怪漢あつたが最近平町地方に姿を現はしたので平署では行衛嚴探中向同人は須賀川町伊藤警と稱して岩瀬郡銚子村荷馬車ひき業吉田吉三郎方に一泊した形跡あると

近火御見舞御禮

近火の際は早速御馳付け消火に御盡力被下且つ御見舞を頂き有難御禮申上候混雜中御名前洩れも有之失禮仕候儘紙上を以て御厚禮申上候
平町字田町
近盛支店 馬目酒店

類焼御見舞御禮

類焼の際は早速御馳付け御見舞を忝ふし御厚情の段深謝仕候一々拜趨御禮申上可の處不取敢紙上を以て御厚禮申上候
堀江工業株式會社
江口忠一

類焼御見舞御禮

今朝當支局類焼に就ては早速御馳付け御見舞を賜り御厚情の段深謝仕候一々拜趨御禮申上可の處混雜中に就き失禮仕り紙上を以て御禮申上候
福島新聞社平支局
森田忠政
販賣所 吉田新聞店
避難所は一時白銀町二番地吉田新聞店に相定め候

近火御見舞御禮

福山靴店
大里金丸店
清光堂分店
緑川喜三郎店
銘酒谷盛大谷屋酒店

近火御見舞御禮

平町役場
同水道部

近火御見舞御禮

日建商會
味岡子之松

東京朝日新聞專賣所

主鈴木房吉

阿部政右衛門

平町才掘小路

門傳清吾

山崎合名會社

山崎與三郎

國村自轉車店

田村岩雄

ライト寫眞館

高田二果

